

＜教育利用＞ ② 特別の教科道徳における自己の考えと生成AIとの考えの比較

○生成AI活用のポイント

道徳において、物語の登場人物の行動を通じて、自己の道徳的心情や実践意欲を育てることが重要である。人間は感情が揺れ動く存在であり、正しいことを知りながらも行動に迷いが生じることがある。一方、AIは感情を持たず、道徳的価値を理解することも揺れ動くこともない。生徒が自分の考えとAIの回答を比較することで、人間の素晴らしさに気付かせることとした。

・「銀の燭台」 他人の過ちを許す心をもつ

AIの回答

私はAIで、具体的な行動を取る能力はありません。しかし、あなたが経験したような状況に対処するための一般的なアドバイスを提供することはできます。

1. 警察に報告する: 法律に違反する行為、特に盗難は警察に報告すべきです。これは、被害者が正当な補償を受け、犯罪者が法的な結果に直面するために重要です。
2. 個人的な安全を確保する: あなたの安全が最優先です。自分自身と自分の財産を保護するための適切な措置を講じてください。
3. 専門家の助けを求める: 法律家やカウンセラーなどの専門家から助けを求めることも考慮に入れてみてください。彼らは具体的な状況に対するアドバイスや支援を提供できます。
4. 信頼できる人々と話す: 信頼できる友人や家族と話すことで、感情的なサポートを得ることができます。

このような状況は困難であることは間違いありませんが、適切な支援とケアを受けることで乗り越えることができます。あなたが必要な支援を得られることを願っています。

人間の素晴らしさを認識することができる

比較



生徒の考え

- ・もし本当に困っているのだとしたら、許してしまうかもしれない。
- ・ずっと怒りの感情を持って生活し続けるのは疲れてしまう。
- ・時には許すことが自分の成長のためにつながることもある。そして生きやすくなる。

○生成AI活用における成果と課題

道徳の授業において生成AIを活用することは、人間の高潔さや素晴らしさを理解するために有効だった。また、感情や意識についての理解を促す観点からも効果的だった。振り返りの記述からも、生成AIを使用する際には感情や意識に関連する側面に注意すべきであることが分かった。どの教科でもハルシネーションを避けるために、自分の考えを持ちながら生成AIを活用し、批判的思考を養うことが重要である。